

# わくわく 本だな



## こんげつの

## おすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

### 『おっとどっこいしゃもじろう』 (えほん)

もとした いづみ/作 市居 みか/絵  
ひかりのくに



ねえさんが、かぜでねこんでしま  
った。そこで、しゃもじやおたま  
など、台所の道具たちがおいしい  
おかゆを作ることに！！

### 『なまえをかえましょ！まほうのはさみ ことばって、たのしいな！』 ★

内田 麟太郎/作 中谷 靖彦/絵 くもん出版

ともくんはことばを切るまほうのはさみを  
もらいました。「どろぼう」をチョ  
キンと切ると「どろ」と「ぼう」  
になったのです。



### 『マドレーヌは小さな名コック』 ★★

ルパート・キングフィッシャー/作  
つつみ あれい/絵 三原 泉/訳 徳間書店



おじさんのレストランを手伝うマド  
レーヌ。ある日、不思議なお店で買った  
ペーストを出すと大ひょうばんに。  
ところが、こまったことがおこります。

### 『じったんのオムライス』 ★★

大久保 美行/作 大野 八生/絵 くもん出版



お兄ちゃんはおじいちゃんから料理を  
習っています。うらやましくなった隼人  
も、ママの誕生日のためにオムライスの  
作り方を教わりますが・・・。

### 『緑の精にまた会う日』 ★★★

リンダ・ニューベリー/作 平澤 朋子/絵  
野の 水生/訳 徳間書店



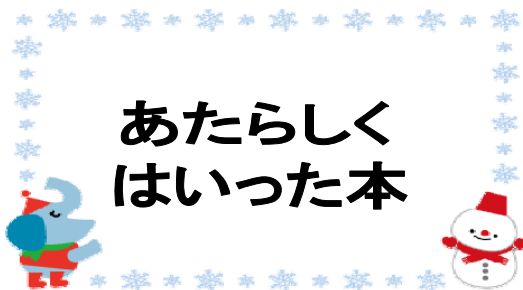
おじいちゃんの庭には、仕事を手伝  
ってくれる緑の精、ロブが住んでいま  
す。ルーシーは、人には見えないロブ  
に会いたくてたまりません。

### 『ずかん宝石』 (ちしきの本)

飯田 孝一/監修 技術評論社



岩石の中からとりだされるダイ  
アモンドやルビーなどの宝石。そ  
の性質や歴史などを、美しい写真で  
しょうかいしています。



『おべんとうさん いただきます』 (えほん)

堀川 真/作・絵 教育画劇

お母さんが作ってくれたおべんとうには、しゃげやチーズなどおかずがいっぱい。でも、たべものってどこからくるの？



『かぜのかみとこども』 (えほん)

山中 恒/文 瀬川 康男/絵 フレーベル館



こどもたちがお堂であそんでいると、みしらぬ男がやってきました。そして、子どもたちをのせて、柿のなる山へつれていったのです。

『カステラやさんのバースデーケーキ』 ★

堀 直子/作 神山 ますみ/絵 小峰書店



ナナがおるすばんをしていると、バースデーケーキをつくってほしいというおきやくさんがきました。ナナは、いたちのハナママたちに手伝ってもらいます。

『モンスター一家のモン太くん』

モンスタータウンへようこそ』 ★

土屋 富士夫/作・絵 徳間書店



にんげんとモンスターがすむモンスタータウン。モン太くんはにんげんだけど、おとうさんはフランケンシュタイン、おかあさんはまじよです。

『ハンナの学校』 ★★

グロリア・ウィーラン/作 スギヤマ カナヨ/絵

中家 多恵子/訳 文研出版



目が見えないハンナは、みんなから何も出来ないと思われていました。ある日、ロビン先生のすすめで初めて学校へ行くことになります。

『雨ふる本屋の雨ふらし』 ★★★

日向 理恵子/作 吉田 尚令/絵 童心社



ルウ子とサラは、雨が本を育てるといふ不思議な本屋へ遊びにきました。ところが“骨の竜”が現れ、本屋をこわし、サラをさらっていきます。

『オムレツ屋へようこそ』 ★★★

西村 友里/作 鈴木 びんこ/絵 国土社



お母さんと二人で暮らす尚子は、レストランを営むおじさんの家に預けられます。温かい家庭に心なごむ尚子でしたが、いとこの様子がおかしいことに気づきます。

『絵で旅する五街道 ① 東海道』

(ちしきの本) 秋山 浩子/文

伊藤 まさあき/絵 汐文社



昔、江戸(東京)から京都までをつないでいた道、東海道。その頃の様子や名物などを紹介しています。

『ぼくは、いつでもぼくだった。』

(ちしきの本) いっこく堂/作

中村 景児/絵 くもん出版



腹話術師のいっこく堂さんは、沖縄で育ちました。中学校時代にうけたいじめや挫折をのりこえ、新たに人生を切り開いていく姿を描いています。

読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273